

三原市立宮浦中学校第3学年 国語科学習指導案

単元名：ことばを磨く 教材：句会を開こう

指導者：三原市立宮浦中学校 安保 裕子

- 1 日 時 : 平成29年6月8日(木) 第5校時
2 場 所 : 3年3組教室
3 学年・学級 : 第3学年3組(38名)
4 単 元 名 :

(1) 単 元 観・教材観

本単元「ことばを磨く」は、多くの表現の中から、極限まで言葉を削り、ぴったりの表現を見つける活動を通して、既習内容の言葉の辞書的な意味や文脈上の意味を考えたり、状況や場面、自分の心情にしっくりくる言葉を見つけたりできる単元である。よって、学習指導要領(平成20年9月)の「C 読むこと」(第3学年)の「ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。」の指導事項に対応した単元であるといえる。

本教材「句会を開こう」では、学習指導要領(平成20年9月)の「C 読むこと」(第3学年)の「ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること」の指導事項を身に付けさせる。前時に学習した教材「俳句の世界/俳句十句」を受けて、各自で俳句を書かせ、それをお互いに評価することを通して表現の仕方について話し合い、どんな表現か良いかを生徒に意識させる。その後、俳句を推敲する活動を通して、極限まで言葉を削り、ぴったりの表現を見つけさせる。そうすることで、「ことばを磨く」ことができ、また、どんな表現が良いのかについて理解できるようになると考える。

「本校で育成したい資質・能力」との関連については、俳句を作る際、表現力に留意させる。第3学年は今までの既習内容を通して、多様な表現ができるようになってきていると考えている。多様な表現から、ことばを厳選する活動を通して、自分が考えていること、思っている状況を表現するためにどの言葉を選んだら良いか、他者評価も踏まえて考えさせ、ことばを磨かせる。さらに、最終的に俳句を書き直させることで、自分のより良い表現を見つけさせる。このような活動を通して、表現力が磨かれていくと考える。

よって、多様な表現ができ、その中から選んだ表現を見つける際、ことばに「こだわり」を持ち、深く考えて表現している、そんな生徒の姿を目標とする。

(2) 生 徒 観 (調査結果からみる課題)

平成28年度基礎・基本定着状況調査の結果は次の通りであった。

観 点	全体通過率	聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化
本校(2年)	76.2	80.8	77.4	76.1	66.6
県平均	69.7	55.5	64.4	67.9	49.4

どの領域においても、県平均を上回っている。特に、聞くことにおいて、県平均より高い数値である。本学級の生徒の基礎学力は定着しているといえる。

しかしながら、同調査の「生活と学習に関する意識・実態アンケート」において「授業では自分の考えを積極的に伝えています。」という設問において肯定的評価をした生徒の割合が45.2%であり、県平均56.3%を11.1%下回っている。

また、「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝わるように発表を工夫しています。」という設問において肯定的評価をした生徒の割合が51.3%であり、県平均56.5%を5.2%下回っている。

以上の結果から、本学年の生徒は、基礎学力はついているものの、自分の考えを発表したり積極的に伝えたりすることに苦手意識を持っていると考えられる。

(3) 指導観(指導改善のポイント)

次の3点に留意して活動を行う。

- ①多様な表現を書き出させて、その中からことばを選び、俳句を書かせる。
- ②生徒が作った俳句を評価させ、どこがどう良かったか協議させる。
- ③協議の結果、どのような表現が良いかについてまとめさせ、最終的に俳句を書き直させる。

目標達成、課題克服のために、日常の出来事(例えばデイリーの記述)などを活用して、文に「季語」を加えることで、思いが伝わり俳句になる活動を行う。まずは全員が俳句を作ることができることを目指す。その後、辞書を引かせ、類義語や意味から他の表現がないか調べさせる。さらに、調べた中から言葉を選び、俳句を完成させる。

コミュニケーションについては、「句会」を開き、評価する活動において、どのような話し合い活動が良い活動か示したうえで活動させる。良い話し合いとは「(1)自分の考えを言うことができる。(2)他の人の考えを受け入れることができる。(3)相手の考えと自分の考えとの相違点を整理し、さらに自分の考えをいうことができる」である。

このような活動を通して、自分の考えを発表したり、積極的に伝えたりできるようになり、またことばに「こだわり」を持ち、表現力が磨かれているものと考ええる。

(4) 本単元において育成しようとする資質・能力

本校で育成しようとする資質・能力は以下の5点である。

【知識】【スキル】	①課題解決能力	②表現力		
【意欲・態度】	③主体性	④協調性	【価値観・倫理観】	⑤公共心

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、国語科の身に付けさせたい力をふまえた上で、次の2点に重点を置くものとする。

【知識】【スキル】

②表現力

- A 他の人が作った俳句を自分の考えを表現技法や季語の効果を根拠に、立場の違う人の意見に反論したり、同じ意見の人に付け足したりして評価し、記述している。
- B 他の人が作った俳句を自分の考えを表現技法や季語の効果を根拠に評価し、記述している。
- C 他の人が作った俳句を評価し、記述している。

【意欲・態度】

④協調性

- A 立場や考えの違う人の意見も取り入れた上で、その意見と自分の意見をつなぎ、共感したり反論したりして自分の考えを述べている。
- B 立場や考えの違う人の意見を取り入れた上で、自分の考えを述べている。
- C 友達の意見を取り入れて、自分の考えを述べている。

5 単元・教材の目標と評価規準

単元の目標

- 自分の思いや状況を俳句で表現できる。
- 他の人が作った俳句を評価できる。

単元・教材の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能知識・理解
①自分の思いや状況を文章にし、季語を選んで俳句にしようとしている。	①自分の思いや状況が伝わる季語を選び、俳句で表現している。 ②他の人が作った俳句を表現技法や多様な表現から選んだであろうことばを根拠に評価している。	①表現技法の効果について理解し、その理解を説明できる。 ②辞書的な意味と文脈上の意味を理解することができる。 ③俳句において、季語の効果を理解できる。

6 指導と評価の計画

全3時間（本時は3／3）

次	学習内容（時数）	主な学習内容			評価方法	育成したい資質・能力（評価方法）	
		関	読	知			
1	<ul style="list-style-type: none"> 課題の設定 情報の収集 整理・分析 			<ul style="list-style-type: none"> ・表現技法について理解し、その効果について理解できる。 ・辞書的な意味と文脈上の意味を理解することができる。 ・俳句において、季語の効果を理解できる 	ノートの記述 発表		
2		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや状況が伝わる季語を選び、俳句で表現することができる。 ・自分の思いや状況を文章にし、季語を選んで俳句にしようとしている。 	ワークシート	②表現力 (ワークシート)	
3	<ul style="list-style-type: none"> まとめ・創造・表現 実行 振り返り 		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・他の人が作った俳句を表現技法や多様な表現から選んだであろうことばを根拠に評価している。 	ワークシート	②表現力（ワークシート） ④協調性（仲間指導）（自己評価）

7 本時の展開

(1) 本時の目標

◎どの俳句が良いか選び、理由を説明することができる。

(2) 観点別評価規準

◎他の人が作った俳句を表現技法や多様な表現から選んだであろうことばを根拠に評価している。

評価方法：ワークシート、机間指導、自己評価

(3) 育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
【知識】【スキル】 ② 表現力	A 他の方が作った俳句を自分の考えを表現技法や季語の効果を根拠に、立場の違う人の意見に反論したり、同じ意見の人に付け足したりして評価し、記述している。 B 他の方が作った俳句を自分の考えを表現技法や季語の効果を根拠に評価し、記述している。 C 他の方が作った俳句を評価し、記述している。
【意欲・態度】 ④ 協調性	A 立場や考えの違う人の意見も取り入れた上で、その意見と自分の意見をつなぎ、共感したり反論したりして自分の考えを述べている。 B 立場や考えの違う人の意見を取り入れた上で、自分の考えを述べている。 C 友達の意見を取り入れて、自分の考えを述べている。

(4) 準備物

・全員が作った俳句のプリント，ワークシート

(5) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項（・） (努力を要する生徒への指導の手立て◆)	評価基準 ○教科の事項 ☆資質・能力 (評価方法)
導入	○みんなが作った俳句の中から「優秀賞」を選ぼう。 <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">課題の設定</div> ○本時の目標の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【本時の目標】どの俳句が良いか選び、理由を説明することができる。</div>		
	○季語や表現技法の確認をする。 ○ワークシートをもとに、自分が良いと思った俳句を一句選ぶ。選んだ俳句のどこがいいのか、表現技法や季語などの効果を根拠に説明を記述する。	・どんなことに気を付けて俳句を評価するか確認する。 ・自分の作った俳句は選ばないように指導する。 ◆机間指導で、記述が難しい生徒に声をかける。前時のノートなどを参考にさせ、理由を書かせる。	☆表現力 (ワークシート) 他の方が作った俳句を自分の考えを表現技法や季語の効果を根拠に評価し記述している。

展 開	○学習班で話し合う際に、良い話し方、良い聞き方について説明する。⇒ワークシートの自己評価と連動させておき、それをもとに説明する。	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりがどの俳句が良いと思ったか発表させた上で、班で話し合うようにさせる。*全員発現させる。 ホワイトボードに記入させ、黒板に貼らせる。 時間内に決めさせるようにする。 自分の記述と比較し、気づきをメモしながら聞くように指導する。 	☆協調性 (机間指導) 立場や考えの違う人の意見を取り入れた上で、自分の考えを述べている。
	○学習班で話し合い、学習班で一句選ばせる。		
【主体的に学んでいる姿】 <ul style="list-style-type: none"> 自分が良いと思った俳句を一句選び、選んだ理由を話している。 友だちが話しやすいよう、うなづいたり、返事をしたりしながら聞いている。 友だちの考えをメモして取り入れたり、考えに対して質問をしたりしている。 			
	○全体で確認する。		
ま と め	○振り返り まとめ・創造・表現 他の人の表現技法や季語の評価を学習した上で、自分の俳句を書き直させる。 ○自己評価 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 良い話し方、良い聞き方とともに自分の意見を書いたり話したりできたか、俳句を上手く書き直すことが出来たか、評価の観点が理解できたかなど自己評価させる。 	○読む能力 (ワークシート) 立場や考えの違う人の意見を取り入れた上で、自分の考えを記述している。

(6) 板書計画

<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> </div> <p style="text-align: center;">各学習班が記入したホワイトボードを貼らせる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px;"></div> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 学習の目標 どの俳句が良いか選び、理由を説明することが出来る。 </div> <p>○評価の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現技法の効果 季語の効果
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------